

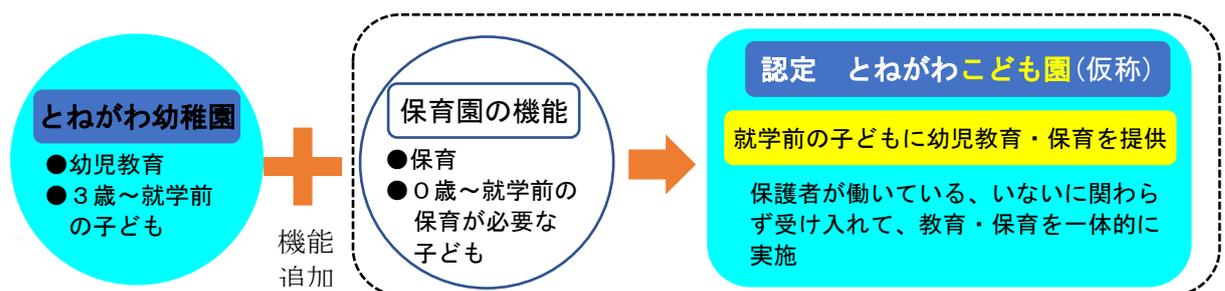


令和6年度とねがわ幼稚園は生まれ変わります 園長 笛木 哲

とねがわ幼稚園は、初代理事長 利根川佐太郎(ホール前の胸像)が、当時の町立川島幼稚園が1年保育であったことから、「人間の将来にわたる基礎を養う幼児教育は3年保育であるべき」との信念、また未来の町や日本の発展に寄与する人材育成という大きな夢をもち、3年保育による幼児教育施設として、とねがわ幼稚園を設立しました。今から47年前の昭和52年4月のことです。当時は49名の園児からスタートしました。

開園以来、とねがわ幼稚園は、町民憲章にある「かわじまの宝だ 伸ばせ子供たち」を経営理念の基盤におき、「川島の子は川島で育てる」という一貫した信念で、幼児教育に取り組んでまいりました。平成28年の町立川島幼稚園の閉園後は、町内唯一の幼児教育機関として、これまで3300人の卒園生を送り出して参りました。

開園以来47年が経ち、幼児教育を取り巻く環境が大きく変化しています。少子化、核家族化、情報化、国際化など経済社会の急激な変化を受け、人々の価値観や生活様式が多様化し、人間関係の希薄化、就労する保護者の増加など、開園時には想定できない社会になっています。「このような時代にあった幼児教育施設」「保護者の皆様にとってより利用しやすく安心してお子さんを預けられる施設」にしたいとの利根川秀之理事長の思いを実現する形で、令和6年度からとねがわ幼稚園は、**認定こども園**に生まれ変わります。(R5/6/1 埼玉県…本園が認定基準を満たしたことにより『認可(内示)』)



認定こども園になることで「異年齢交流の活発化」「全園児に給食提供」など、ワクワクするような楽しみがたくさん待っています。夏以降、管理棟の南側に保育棟(0～2歳児を預かる施設)を増設するなど新しい施設もできます。次号で、認定こども園になると今までとどのように変わっていくか、詳しくお知らせします。

4年ぶりのお泊まり保育

コロナ蔓延期間にあっては『デイキャンプ』として実施しましたが、本年度は『お泊まり保育』(年長児)として実施します。親元を離れて、友だちや先生と幼稚園で一夜を過ごす経験は、子供たちにとって何ものにも代え難い経験となるはずです。

新しいお友だち

ちゅうりっぷ組に5月から松本美織さん、山口笑舞さん、6月から坂本愛莉さん、後藤湊斗さんが仲間入りしました（ちゅうりっぷ組の子供たちは、8月までばら組のお兄さん、お姉さんと一緒に生活します。9月からちゅうりっぷ組として独立します）が仲間入りしました。また、ゆり組に渡邊絢斗さんが6月から仲間入りしました。どうぞよろしくお願ひします。



麦の収穫の季節になりました

星野富弘さんの詩に「麦の穂」があります。

麦の穂 となりも 麦の穂
ぶつからず 離れすぎず
特に高いものもなく 特に低いものもなく
にてるけれど みんなちがう
麦の穂 太陽の弓矢



川島を囲む堤外の畑で大型農業機械がうなりをあげていました。収穫を待つ麦を見るたびにこの詩を思い出します。麦の穂が子供たちの姿に見えます。どの子も「太陽の弓矢」のように真っ直ぐに伸びて欲しいと願ひます。

子どもの「ことば」



- 初めてのはさみで線切り（年少児） 隣の子が危なっかしくハサミをもっていると「先生の話聞いていないと怪我をするよ」と教えてくれる子。その隣で、ハサミをぐっと持ち上げて「これが切れるやつか」とワクワク顔の子。…年少児は『初めて』のことがいっぱいです。子供たちの『初めてできた』に立ち会うことができた時はとても幸せです。
- 初めてのはじき絵（年中児） 色鮮やかなクレヨンでつけた形が輝いている画用紙を見て「（絵の具で）はじいてやる！」と立ち向かう。歯が立たないことを知ると「俺のクレヨンは強い」と感心している様子。…子どもはどんなことにも本気です。
- 母の日のプレゼントづくり（年長児） プレゼント作りの前日、担任は「お母さんの絵を描くので顔をよく見てきたり、好きな物を聞いたりしてきてね。でも、プレゼントだから内緒にしておこう」と話した。当日、A君は、「あっ、聞いてくるのを忘れちゃった。でも、お母さんの好きなものなんて聞かなくても分かるよ」「俺だよ」とニコニコ顔で言っていた。…自信たっぷりに「お母さんは、私が好き」と言える子に育ててくれた親御さんに感謝ですね。
- 「明日一緒に遊ぼうね」「〇君も一緒だよ」「何して遊ぶ？」「砂場で遊ぼう！」「いい考えだね。でも（約束したことを）忘れちゃうかもしれないね」（砂場での年少児の会話）…子どもも大人と同じくらい忙しいのです。幼稚園児にとって遊びは立派な勉強であり、仕事でもあります。

6月5日（月）から6月26日（月）までの3週間、小跨晴暉（こまたはるき）さんが、きく組を中心に教育実習を行います。子供たちとの触れ合いが楽しみです。